

005 古墳時代前期 & 古墳時代中期

<古墳時代前期>

- ①埴輪は 円筒埴輪
- ②石室は 竪穴式石室
棺を 粘土 でおおう 粘土郭
→よって 追葬 不可能
- ③副葬品は 銅鏡 ・ 勾玉
何十枚の 三角縁神獣鏡 など
→被葬者は 呪術的司祭者的な王
- ④前期最大は 箸墓古墳 (大和)
・隣りが纏向遺跡。卑弥呼の墓か。

<古墳時代中期>

- ①埴輪は 形象埴輪
- ②石室は 横穴式石室 も登場
- ③副葬品は 武器 ・ 短甲 ・ 馬具
→被葬者は 軍事支配者的な王
- ④近畿地方の 大山古墳 (1位、486m)
吉備地方の 造山古墳 (4位、350m)

<古墳時代の東アジア>

- ◇中国は 南北朝分裂 時代
- ◇朝鮮半島は4つに分裂
- ① 高句麗
313年に 楽浪郡 を滅ぼし強大化
(乘馬 の風習を持つ民族)
- ② 馬韓諸国 → 百濟 が統一
- ③ 辰韓諸国 → 新羅 が統一
- ④ 伽耶諸国 → 未統一 で
鉄資源 の主要産地。
→ ヤマト政権(倭国) は伽耶を狙っていた

<ヤマト政権の朝鮮進出>

- ◇史料 高句麗好太王碑文
6.34m
391 年、渡海してきた倭を破る
敗れた倭に 乘馬 の風習が伝わる。

◇史料『宋書』倭国伝

- 倭の五王 が中国 南朝 に朝貢
朝鮮半島南部 の支配権と
鉄 資源が目的だと記される。
- ※倭の五王は「讚」「珍」
「渚」「興」「武」
と、南朝に対し中国風に1字で名乗った。
倭王武は 雄略天皇 でほぼ断定。

<大陸文化の受容>

渡来人伝説

- ◇やまとに移り住んだ 阿知使主
→ 東漢氏 (やまとのあやうじ) の祖
 - ◇漢字を伝えた 主仁
→ 西文氏 (かわちのふみうじ) の祖
 - ◇機織り伝えた 弓月君
→ 秦氏 (はたうじ) の祖。京都府。
 - ◇鉄器を伝えた渡来人
→ 韓鍛冶部 として組織
 - ◇はた織り技術者
→ 錦織部 として組織
 - ◇金属工芸
→ 鞍作部 として組織
 - ◇文字を使う渡来人
→ 史部 として組織
 - ◇漢字の使用例
①埼玉県の 埼玉古墳群 稲荷山古墳 鉄剣
獲加多支鹵大王 という文字
= 雄略 天皇 = 倭王武
 - ②熊本県の 江田船山古墳
 - ③石上神宮 七支刀
 - ◇百濟の 五経博士 が 儒教 を伝える
 - ◇百濟の 聖明王 が仏教を伝える
- 古墳時代には多く渡来人がやってきた。漢字を伝えたと思われる人物は 主仁 である。